



枝久保店長とヒット作の「ダンス預金たんす」(越谷市「枝久保商店(エダクボ家具)」ショールームで)

半額オーダーメイドで 大型家具店包囲網に対抗

世間相場の半額でオーダー家具を販売。枝久保商店は、こうアピールし、オーダー家具卸値センター(越谷市)を中心に「エダクボ家具」は関東近県に枝を広げている。

そのエダクボは三郷市にオープンしたイケア、草加市に進出したニトリと、大型家具店に包囲されたが、「世界に一つ、あなただけの家具を」と、顧客の、ああしたい、こうもしたい、という希望を形にするオーダーメイドに活路を見だし、特価も設定して包囲網に対抗している。



枝久保商店

葉・柏市のJさん宅。家族4人+猫(メス1歳6か月)に夫人の両親も同居することになり、

収納家具が必要となったが、猫のトイレの置き場も心配のタネだった。この解決策として、猫トイレ(消臭フラグ付)も収納にしてJさんの悩みを解消した。

エダクボは昨年、隠し金庫内蔵の「ダンス預金たんす」を発表し、NHK「おはよう日本」などに取り上げられて話題を呼んだ。裏ワザに加えて、ネットでは情報をキャッチ

◆(有)枝久保商店(越谷市七左町・☎048・965・8438)1953年、初代・文雄が東京・赤羽でダンス製作販売開始。83年、越谷に流通センター完成。翌年、本社ショールームオープン。90年、地元ダンス職人を集めてエダクボ会立ち上げ。06年、ホームページ(<http://order-kagu.com/>)=枝久保商店でもOK)を開設しインターネット事業開始。父・弘行(68)の継いで剛と悟(37)の弟が二人三脚で経営。

め細かさがエダクボ流。「まともに闘ったんじゃない」と同商店・店長の枝久保剛さん(40)。「お客様とは5年、10年のお付き合いで終わってしまうのではなく、代がかわってもお付き合いしていきたいです。うちの母さんも昔、買ったんですよ」といって来てくださる方もいるんです。だからデタラメなことはできないですよ。私の孫子の代になっても、そうしたお付き合いができるというないと、思っています」

エダクボの営業は土・日曜日。通常はインターネットで情報をキャッチ

アイデアときめ細かな職人ワザ

(秋保 洋征)